

郷土資料館企画展

「八王子の天災と疫病～いま、災害について考える～」開催中

近年は大規模な水害や新型コロナウイルスの感染拡大など、人々の生活を脅かす自然災害が頻発しています。また、来年は、東日本大震災から10年目となります。

本館では、今月から来年3月まで前期・後期の二期にわけ、江戸時代・明治時代に八王子で発生した災害と、多くの災害を乗り越えてきた先人たちの姿、約50点の資料を展示する企画展を開催しています。

前期は江戸時代以降に発生した気象災害や伝染病(疫病)と人々の闘いの歴史を取り上げます。江戸時代の河川工事(川除普請)や伝染病対策、明治時代の衛生意識の高まりなど、天災と疫病の歴史を通して現在の防災や減災を考える機会となることを期待しています。

1 会 期

【前期】開催中(今月16日(金))～令和3年(2021年)2月14日(日)

【後期】令和3年(2021年)2月17日(水)～3月31日(水)

※後期は「地震と大火」について取り上げる予定です。

2 会 場 郷土資料館1階常設展示室(上野町33 電話042-622-8939)

3 主な展示資料



上段左：蛇籠の模型(ミニチュア)

上段右：浅川絵図

下段：保赤牛痘菩薩(桑田立斎著『牛痘発蒙』の口絵)[個人蔵]

<問い合わせ> 生涯学習スポーツ部文化財課長 菅野
電話042-620-7265